

陣寺 / 夔灼 / 坂田 / 宇那月 四天王の牙城を崩すのは



# 特撮AV世界 第9回G1グランプリ 決定戦



## 11月より堂々

## 開幕

MADなアスリース

唯一無二・業界最強の特撮AVメーカー・ギガで毎年秋に開催されるG1グランプリ。2009年からスタートし、今年で早9回目を迎える。ギガに在籍する全監督がメーカーの特色でもある「戦うヒロインを主題としたアダルト作品」のカテゴリーの中で、己の創造性と映像美学、そしてエロチシズムをぶつけあう戦いだ。過去8回に於いては宇那月(うなつき)・坂田徹・夔灼(かんじやく)・陣寺甚多(じんじ・じんだ)の4監督が2回ずつ(いずれも連覇)制し、横並びの状態となっている。安定したクオリティの作品を量産し、ユーザーの信頼も厚いこの「四天王」の牙城を残りの6監督が突き崩せるかが、今回のポイントの一つとなっている。とはいえ「四天王」以外の6監督が劣っているというのでは決してなく、意欲的に冒険を試む者、頑なに自身のスタイルで一点突破を図る者、気負わずただ良作を作ろうと挑む者、その有り様は千差万別だ。また件の四天王の作品群は、それぞれ自身の「持ちキャラ」を前面に押し出した「鉄板系」が多く、安定の強さを伺わせるが、唯一陣寺の「セ・リーヌの星」が例外か。勢いが味方するか、はたまた安定保守の流れが優勢なのか。ユーザーの傾向として「鉄板系」キャラを用いた新しい切り口の作品」の待望論が強まっているのを見ると、今年も大混戦が予想されるが、果たして優勝は...?各店舗とネットの売上を集計し、来年1月に結果発表される。

## 2016 第9回G1グランプリ エントリー作品一覧

式正義	<b>秘経穴破壊ドミネーション</b> スパンデクサー・コスモエンジェル デッドフェイス編 出演：蓮実クレア ギガユーザー内でもじわじわと評価を高めつつある人気女優・蓮実クレアを起用した2作目。前作も高評価。式監督のスパンデクサー × ドミ作品は過去にも名作も多く期待大。蓮実の美しさがあることで初めて具現化される、最高峰のヒロインのヤラレ・蹂躪される姿に注目。	陣寺甚多	<b>セ・リーヌの星2 一屈辱の肉体奉仕</b> 出演：KAORI あやね運菜 G1という大舞台にふさわしい当代随一の美魔女女優・KAORIを大胆起用。また安定したギガユーザー人気を誇るあやね運菜で脇もぬかりなく固める。どんなキャラも「陣寺マジック」でヒットさせる成功請負人が今回どんな戦いを見せるのか。前人未到の3連覇は決して夢物語ではない。
	<b>川森重</b>		<b>神獣戦隊ビーストレンジャー</b> 狙われたビーストイエロー 出演：かなで自由 レンジャー系キャラでのエントリーが多いが、今年は少々切り口を変えた印象。ヒロイン女優として覚醒しつつあるかなで自由の魅力を活かした、正統派のアクションやピンチが見れる。もちろん得意のねっちょりレズ描写もあるので、ご心配なく。
たむさろしの	<b>格闘女戦士失禁レイプ 龍華</b> 出演：星川麻紀 監督との前作で大きなセールスを叩き出し、次代のヒロイン女優候補として要チェックの星川麻紀を起用。チャイナ服系の女性格闘家という少々マイナーなキャラ選択が、余計な先入観を排し、星川をよりヒロインらしく見せている。特に「眼の演技」は近年でも出色のクオリティだ。	坂田徹	<b>美少女戦士セーラーエンジェルズ</b> フレイア&アクアス ～裏切りの魔装塗ち～ 出演：涼海みさ 水城りの 王道中の王道とも言えるセーラーヒロイン系だが、今回は以前妄想プロジェクト企画で手掛け、大ヒットを飛ばした魔装系で勝負。坂田印のセーラーヒロインものといえば泣く子も黙る良作が多数。監督の信頼も厚い涼海みさとフレッシュな水城りののバランスの妙に期待。
六機宗	<b>VS バーサス</b> 美聖女仮面プリンシパル&アドミラルウーマン 出演：波多野結衣 平清香 海外でも高い人気を誇る波多野結衣と、落ち着いた大人の佇まいが魅力の平清香とのWヒロインもの。いずれも鉄板系のキャラだが、もともとの世界観はまるで別モノ同士。それをどうまとめあげるか。シナリオの妙に期待だ。	宇那月	<b>魔法美少女戦士フォンテーヌ</b> 打倒フォンテーヌ決死隊! 悪の博士大集結 出演：倉持りん 今作の前日譚にあたる作品が現在大ヒット中。美肌色白で愛らしい倉持りんは現時点で最強のフォンテーヌ女優で異論は無し。昨今重流のフォンテーヌが横行していた中、遂にオリジネーターが反撃の狼煙を上げた。本物の、そして最新型の美少女仮面ヒロインの決定版としての期待が高まる。
初エントリー 鼻道	<b>泪 RUI ~さよならのレクイエム~</b> 出演：仁美まどか 今回初参加となる新人・鼻道監督。自身の処女作を飾った人気女優・仁美まどかで挑む。監督自身が強くエロチシズムを感じるという「強くてクールな女」をどこまで作品に落とし込めたかがカギ。好みは分かれることが予想されるが、「新しいヒロイン」を求める諸兄には強くオススメ。	長谷川孝行	<b>スーパーヒロインデッドエンド</b> スーパーレディーの最期 出演：西内るな 前回2位というダークホース的な活躍以後、徐々にユーザーの信頼を勝ち取りつつある長谷川監督。敢えてテーマをピンポイントに絞り込みながらも、鉄板キャラで間口の広さをキープ。西内るなの魅力は未知数だが、一部では既に盛り上がりを見せている。牙城を崩す最有力候補か...?